

## 聞き取り調査

西南学院商業学校 第1期卒業生 陶山祐吉氏

# 「昼の生徒に負けるな」

— 心に残る叱咤激励 —

実施日時：2008年9月11日

実施場所：陶山邸（福岡市中央区）

語り手：陶山祐吉氏

1939(昭和14)年	西南学院商業学校入学
1943(昭和18)年	同卒業
	西南学院高等学部高等商業科入学
1944(昭和19)年	高等学部を西南学院経済専門学校に改称
1945(昭和20)年	繰上げ卒業により西南学院経済専門学校卒業

### ◇商業学校入学

私は、現在の小学校にあたる尋常小学校を卒業後、義務教育が通算8年だったので高等小学校に入学しました。そこは中学部に行かない人が師範学校や工業学校いわゆる実業学校に行くために必要な学校で、そこで2年間勉強しました。というのは私の実家が雑貨屋をしていましたから、将来は雑貨屋の仕事を手伝うつもりでした。

そのころは西南学院中学部をはじめ中学修猷館、福岡中学、福岡商業などがありました。私は実業学校を目指して高等小学校に行きました。実は、私が子どもの頃、母親が風呂場で落としてしまい、打ち所が悪かったのか脊椎が湾曲したんですね。それ以来、体の具合が悪くて病弱でした。中学部に進学したいと思った

ときに、普通の中学では自信がなかったので、高等小学校に行き、夜間課程のある学校を目指しました。

その頃、夜間学校を作って欲しいという世間の声がだんだんと広がり、西南学院でも夜間学校を作りたいという考えが、水町義夫院長、佐々木賢治中学部長を中心に盛り上がっていったそうです。そこで当時、慶応義塾の同種の学校をお手本にして、1939（昭和14）年に西南学院商業学校が設置されました。ちょうど私も高等小学校を卒業し、商業学校に進みたいと思っていましたから受験しました。定員100名に対し、193人の志願者がありました。私は第1期生ですが入学時には100余名の生徒がいました。しかし、やはり1日中一生懸命働いて夜に学校で4時間勉強し、帰宅して予習復習をこなすとなれば、寝るのは12時過ぎになるのは

必然で、14歳の生徒には酷でしたね。それが毎日となれば意欲はあっても続かない者が出てきて、卒業時には74名になってしまいました。4年間、毎日というのは口でいうほど簡単なことではないですよ。

## ◇キャンパス・校風

それでも高等学部に進学する優秀な友人や、東京の大学に行く者もいました。大濠公園にある簡易保険事務局の若手が、ほとんど商業学校で勉強していましたね。夜間の商業学校ができたということで保険局の局長さんも応援してくれようです。私も昼間は家の手伝いをしていましたが、特にそろばんができたから帳簿をつけるのはもっぱら私の役目だったので、学校の勉強が役に立ちました。

「西南学院一覧」の「商業学校生徒心得」の中に「飲酒喫煙ハ一切之ヲ禁ス」とありました。生徒は全員未成年ではないかと思われるかもしれませんが、受験資格は14歳から18歳までですので、在学中4年間のうち成人する場合がありますね。それでそんな規則ができたのだと思います。夜間の生徒は年齢も上の方が多かったですね。甲種商業学校は午後9時まで授業が認められてはいますが、設立認可書にあるように「夜間」の文字はなく、生徒は「夜間」という言葉をあまり使いたくなかったようです。

水町先生や佐々木先生は自分たちの手で商業学校を作り上げたという自負と責任がありましたから教えることに熱心で

したね。迫力がありましたよ。「昼の生徒に負けるな、君たちは能力があるんだ」というような檄を飛ばしていました。特に水町先生は教育に熱心だったことが印象に残っています。

## ◇清和会について

入学後の10月、西南学院バプテスト教会で清和会の発会式が行われました。清和会は商業学校の生徒が作った宗教研究活動のための会で、水町先生や尾崎圭一先生も協力してくれました。当時、尾崎先生は西南学院バプテスト教会の牧師でした。そこで清和会の日曜学校が行われていたこともあり、私もクリスチャンではないですが、日曜学校にはよく行きました。また簗子町の福岡バプテスト教会の菅野牧師も聖書の講義で学校に来られました。

清和会の主な活動は、学校の公式な活動ではなく、生徒の自主的な集まりとしてキリスト教に興味のある生徒が教会に行って聖書を読んだり、牧師さんの話を聞くことでした。学校ではキリスト教、自宅に帰ったら仏教と、それぞれ分けて考えていました。クリスマスなどいろいろなキリスト教の行事がありましたし讃美歌も歌いましたが、家では家の宗教があると思うんですよ。しかし清和会のおかげで、より西南の精神に近づいた気がするし、青春時代を有意義に過ごせました。

商業学校では、チャペルで河野貞幹先生から講話を聞き、讃美歌を歌っていま

1 甲種商業学校は14歳以上で乙種の10歳以上区別されていた。「甲種商業学校ニ入学スル者ノ資格ハ年齢十四年以上学力修業年限四箇年ノ高等小学校卒業又ハ之ト同等以上トス但外国語ヲ試験科目ニ加フルコトヲ得」、「乙種商業学校ニ入学スル者ノ資格ハ年齢十年以上学力修業年限四箇年ノ尋常小学校卒業以上ニ於テ之ヲ定ムヘシ」

した。また経済専門学校に進んでからは「キリン、キリン（基倫）」と言っていました。キリスト教倫理学が正課の授業に位置付けられていて、聖書の言葉「マタイ伝」の「山上の垂訓」などを習いました。商業学校時代の前から徐々に軍国主義に向かって行きましたが、商業学校3年生の時に太平洋戦争が始まり、高等学部に進んでからは、空襲が激しくなりました。

### ◇高等学部と動員

1943（昭和18）年に商業学校の修業年限の4年間を無事終えて西南学院高等学部的高等商業科に進みました。私の卒業後、商業学校は、太平洋戦争の真っ最中で国策として商業学校から工業学校に変更させられたそうです。急な変更だったので教える側の教員も間に合わず、県立福岡工業学校から先生を雇って教えてもらったそうですが、実験用の機材や機械などはなく、机上の勉強のみで、実習と称し、みんな軍需工場に動員されて行きました。

商業学校では、体育の授業も夜間に行われていたのですが、剣道、柔道、銃剣術のどれかが必修だったので、私は銃剣術を選びました。そうしたら重い防具を着けたうえに木銃を持って百道の砂浜を室見川まで走らされるんですよ。参りましたね。高等学部でも銃剣術を続けていましたが、名称が高等学部から経済専門学校に変わった2年の時、校内大会がありました。私は銃剣術部に入っていたの

でいわゆるシードされて、あとの方で試合がありました。身体が大きくて兵隊に行くような学生が勝ち上がって来て、彼らと組まされるわけです。何試合か勝ちましたが、その試合は引き分けで、しかも腰骨を傷めて1カ月ほど学校を休んでいました。久しぶりに学校に行くと、学友たちはみんな八幡製鉄に動員させられていて、誰もいなくなっていたんです。職員会議で私をどうするかということになり、1年生が動員に行っている箱崎の陸軍需品廠<sup>じゅうひんしょう</sup>はどうかということになりました。当時、校長だった杉本勝次先生に同行して箱崎に行きましたが、対応していただいた経理課長が陸軍の塩川大尉という私もよく知っている方だったので、杉本校長が「陶山君の学年は八幡製鉄に動員で行ったが、病気で事情があり陶山君だけ残ったが、ここで働く場所はありませんか」と尋ねられました。すると「経済専門学校だからそろばんはできますね」ということで、会計課で働くことになりました。

そこでは兵隊さんを含め、20人ぐらいが会計課で働いていました。その中で同じ年頃の女子挺身隊<sup>ていしんたい</sup>が3人来ていましたが、その女性と一緒に仕事をするわけです。男子校で20歳の私は、女性と机を並べるなんて考えられませんでした。まさに隣に座るんですよ。その女性は、仕事もできましたが、鉢巻姿が凛々しく、すばらしい女性でした。時間が経つとともに打ち解けてきて食事と一緒に摂ったりもしました。時代が時代でしたから口には出しませんが、すてきな女性だなと

2 軍事上の需要物資を仕分けする部署または場所。

3 挺身隊は、日本の労働力が逼迫する中で、強制的に職場を配置換えする国民総動員態勢の補助として行われた。1944年2月、国民職業能力申告令の改正によって12歳以上が労働力とみなされるようになる。



かくしゃくとした語り口の陶山氏

あこがれていました。そういう気持ちが分かったのでしょうか、他の青年との結婚が決まったことをわざわざ私の家まで報告に来られたのは驚きました。時が移り、今は本当にいい時代になったと思います。甘酸っぱい忘れられない思い出です。

終戦になるまで足掛け2年間働きました。戦前から戦中にかけての激動の時代だったですね。高等学部では修業年限3年だったのですが、2年で卒業、いわゆる繰上げ卒業になりました。

その後、西南も高等学部、経済専門学校、専門学校、さらに1949年に西南学院大学と名称も制度もめまぐるしく変わりました。

#### ◇福岡大空襲

1945（昭和20）年6月19日、福岡大空襲がありました。今の福岡高等裁判所が当時西部軍司令部で平和台競技場が46部隊の基地になっていて、そこも攻撃目標の1つになっていました。夜中の11時過ぎに油山の方からB29が飛んできて、あとで調べると221機<sup>4</sup>、それがどんどん焼夷弾を落としていくんですね。ですから戦禍は周りの住宅地にも広がり、簗子町は火の海でした<sup>5</sup>。B29は、また戻ってきて爆弾を落としたのかと思ったら、後の情報では一回だけでした。日米の戦力の差を感じましたね。

夕立のように焼夷弾が降ってきて、アスファルトの道路が火の川。火をかぶって生きたまま燃えている人もいました。私の家も直撃を免れたものの炎が飛んで

4 『改訂 福岡大空襲』（西日本新聞社篇）によれば221機がグアムから飛来した。当時は西部軍管区指令部発表で約60機と伝えられた。

5 1945年6月19日、マリアナ基地を発進したB29、223機（うち2機は福岡上空に到達する前に目標を誤認して焼夷弾を投下）が福岡市を攻撃した。19日午後11時11分から20日午前零時53分まで、この間に1機平均約7t、総計1527.3tの焼夷弾を投下。被害は全市に及んだが、特に被害が大きかったのは博多部の奈良屋、冷泉校区（ほとんど全滅）福岡部では簗子、大名地区であった。焼失面積3.77km<sup>2</sup>、被災戸数1万2856、被災人口6万599人、死者902人、負傷者1078人、行方不明者244人。米軍の損害はゼロであった。（福岡県百科事典）

きて必死で消しました。その時に大型油脂焼夷弾が飛んできて我が家の隣に落ちたんですが、畑にズボッとめり込んで爆発しなかったのが助かりました。後で不発弾の処理をしてもらうと全長2メートルを超える大きな大型焼夷弾だったんです。それが爆発したら間違いなく炎に包まれていたと思うとゾッとしますが、本当に運がよかったですね。西南は攻撃の中心から西の方にはずれていて被害がほとんどなかったようです。

当時、軍司令部の命令で、「壘をめくって防空壕を掘れ」と言われたんですが、そこに逃げた人たちは出るに出られず、みんな焼け死んでしまいました。また後で聞いたことですが、土居町の第十五銀行ビルの地下室を防空壕代わりに逃げ込んだ人たちは、電動シャッターが下りたまま停電で開かずに出出できなかつたと聞いています。60人以上が焼け死んだんです。まるで火葬場のようで悲劇でした。動員で土居町をトラックで通るたびに、死体の焼けこげた臭いが半年は消えなかつたですね。

友人が出征するというので大浜（船着場）まで見送りに行きましたが、地下足袋を履いていました。軍靴じゃないんですね。物資の不足が戦争に行く者にも影響が出てきているんだと感じました。翌日、戦地へ行く途中の玄界灘で攻撃を受けて船は沈没。友人は、召集令状が来て出征してから12時間も経たずに亡くなりました。

## ◇戦 後

私が清和会で活動した商業学校では、外国人の宣教師の先生方とかなり近い関係になりました。ギャロット先生に夕食に招かれたこともあるし、E. B. ドー

ジャー先生の家に遊びに行きました。そんなこともあって、英語は結構話せましたよ。西南は英語に強いという評判だったし、私も英語に興味があり好きだったからかもしれません。それで戦後、就職のために板付のアメリカ駐留軍に受けに行ったんですが、英語が話せるということで、すぐ採用が決まりました。駐留軍に行ったのが24歳の時でしたから結局46歳まで22年間、そこに勤めました。米軍が引き上げた後、残った仲間20人とマイクロフィルムを扱うクローバー工業という会社を興しました。私は商業学校第1期生ということもあり、西南学院高校同窓会の副会長を12年間お引き受けしたんですよ。

## ◇思い出深い校旗

もう一つ、校旗のことです。第1期生の初めての卒業式にあわせて、校旗を作成して欲しいと学校側をお願いしましたが、財政的理由で断られました。当時は戦時下でそれどころではなかつたのでしょう。ならば自分たちで作ろうということになり、お金と衣料切符を集めました。衣料切符は、生活必需品のシャツや靴下などを手に入れるために配給され、衣料切符といっしょじゃないと現金だけじゃ買えないという貴重なものでした。予定通り3月に完成しましたが、残念なことに卒業が12月に繰り上げなり、結局、校旗は第1期生の卒業式には間に合いませんでした。

やがて商業学校が廃止され、1948年に新制高校の夜間定時制に移りましたが、それをきっかけに、校旗も忘れ去られて、行方不明になってしまいました。ところが1988年に古い資料にまぎれて込んでいたのが偶然見つかったと学校側から連絡



があったんです。それでみんなに声をかけ、あらためて商業学校校旗贈呈式をやるとうことになりました。1990年に田中院長、久保高等学校校長、その他関係者のご臨席の元、思い出深い校旗を贈呈し、同級生と感激を分かち合いました。その時は学校側に大変お世話になりましたが、今後「行方不明にならないよう保管してください」とお願いしました（笑い）。

卒業して50年目に当たる1993年に西南学院商業学校の同窓会を盛大に催しましたが、お世話になった体育の岩田富郎先生と数学の今泉威雄先生が参加してくださいました。その日は夜遅くまで昔話に花を咲かせ、みんな学生時代に戻ったみたいでしたよ。

その当時、夜間に商業学校のような学校をよく作ってくださったなと感謝しています。学制の変更で社会の需要が変わり、商業学校は新制の定時制高校になりましたが、やがてそれも廃止になりまし

た。今も夜間で教育している学校もたくさんあるんじゃないでしょうか。商業学校も国策により工業学校に変更させられたり、当時の先生方はいろいろご苦労なされたことでしょう。西南学院も多くの若者を集めて活気ある学校であり続けて欲しいと思います。それと短い期間ですが、西南学院に商業学校という夜間の学校があり、働きながら勉強した生徒がいたということのを忘れないで欲しいですね。

### 〈商業学校のその後〉

1939（昭和14）年に誕生した商業学校は、1951年（昭和26）年の第9回卒業生で最後となり、514人が卒業していった。それと並行して1948（昭和23）年に新制の定時制高校商業科に切り替えられた。1953（昭和28）年には共学となり、また定時制普通課程も加えられたが、その後、1961（昭和36）年3月に定時制高校が廃止された。



▲原鶴温泉延命館において（1993年3月14日）